

事業番号	02 11 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	グローバル化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	国際交流課/G7外務大臣会合準備室				
		実施期間	不明	～	E-mail	kokusai@pref.nagano.lg.jp g7nagano@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	2-3 海外との未来志向の連携								

1 現状と課題

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中国・中南米青年交流事業による海外からの研修生の受け入れ人数が0人となるなど、国際交流の機会が減少している。（令和元年度受入人数：12名）
- ・このため、オンラインの活用や国内の海外関係者との交流により国際交流の機会を創出し、各国との協力・連携関係（パートナーシップ）を強化する必要がある。

2 事業目的

- ・国際交流の機会を創出し、各国との協力・連携関係（パートナーシップ）を強化することで、長野県のグローバル化を推進する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①オリンピック・パラリンピックレガシーとしての中国との交流の強化、新たなグローバル人材の育成
 - ・中国との交流を担う大学生の育成と学生間交流の実施
 - ・河北省への長野県スキージュニア選手派遣、中国選手との合同練習による交流を実施
- ②韓国との観光・経済交流促進、国際チャーター便の誘致
 - ・令和3年（2021年）に協約締結5周年を迎えた江原道、ソウル特別市を訪問し、さらなる観光・経済交流促進のための会談を実施
 - ・インバウンド・国際チャーター便の誘致、旅行会社へのセールスなどを実施
- ③国際交流員（CIR）を活用した県内での国際交流
 - ・CIRの学校訪問、国際交流イベント等への派遣
 - ・自主企画イベントの開催、SNSでの情報発信
- ④ウクライナ避難民の支援
 - ・県内のウクライナ避難民への生活資金支給
 - ・市町村等が実施する生活・就学・就労支援の取組について助成
- ⑤G7外務大臣会合の開催
 - ・「G7外務大臣会合長野県推進協議会（仮称）」の設立
 - ・G7外務大臣会合の成功のために最大限の支援を行うとともに、本県の魅力や強みを国内外に発信する

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	県外からのNAGANO大学生国際交流リーガ-の参加人数 ※R3は大学生サポーター数	人	—	37	—	26	↘	50	未達成	事業の活性化及び多様性を測るための指標として設定。前年度の実績を25%上回る50人を目標とした。	
②	県外からのNAGANO大学生国際交流リーガ-の満足度（5段階）	点	—	4.7	—	5.0	↗	4.7	達成	リーガ-を獲得できる事業内容となっているかをモニタリングするための指標として設定。すでに高水準の満足度を得ているため、この水準を維持する4.7点を目標とした。	
③	国際交流員の派遣件数	件	69	67	↘	128	↗	100	達成	県民が外国文化や国際交流活動に触れ合う機会を測るための指標として設定。前年度を1.5倍以上上回る100件を目指す。	
④	国際交流員の派遣満足度	点	5.0	4.5	↘	4.7	↗	4.8	未達成	県民のニーズに応える事業内容となっているかをモニタリングするための指標として設定。過去3年間（R元～R3）の平均値から同程度の水準を維持する。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	79,538	41,556	121,094	75,736	115,273	7.2
R3年度	0	285,264	△ 14,485	270,779	29,063	266,842	6.0
R2年度	0	81,447	188,245	269,692	27,329	264,179	6.5

事業名	グローバル化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	国際交流課/G7外務大臣会合準備室
-----	--------------------	----	-------	-----	-------------------

6 主な取組実績と成果

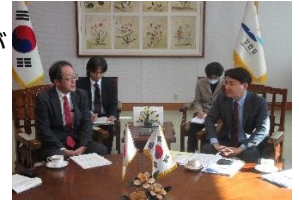
①オリンピック・パラリンピックレガシーとしての中国との交流の強化、新たなグローバル人材の育成

・県内の大学生（3大学26人）を対象に国際交流リーダー養成講座（5回）や、東京の中国大使館や外務省などの中国関連施設を訪問する研修ツアー、学生同士の意見交換会等を開催した。

②韓国との観光・経済交流促進、国際チャーター便の誘致

・韓国江原道及びソウル特別市との交流協約締結から5周年を契機に、関副知事をはじめとする訪問団が両都市を訪問し、経済交流活動の再開、更なる発展に向けてトップ会談を行った。

・さらに、現地の航空会社及び旅行会社を訪問し、国際チャーター便やインバウンド誘致に向けたトップセールスを実施した。



③国際交流員（CIR）を活用した県内での国際交流

・県内の小中学校や団体等に3名の国際交流員（アメリカ、中国、韓国）を計128回派遣し、母国の文化・歴史等の紹介や語学講座等を行った。

・国際交流員の自主企画による「ミニ文化講座」等を開催し、SNSを通じて情報発信を行った。

④ウクライナ避難民の支援

・支援にあたり、クラウドファンディング型ふるさと信州寄付金による「長野県ウクライナ避難民支援プロジェクト」を実施し、199の個人や企業・団体から530万円余の寄付をいただいた。

・県内のウクライナ避難民計12名に対し、居住地市町を通じた就学・就労等に対する助成等の支援を行うとともに、生活支援金として279万円を交付した。

⑤G7外務大臣会合の開催

・令和4年10月に「G7外務大臣会合長野県推進協議会」を設立し、官民一体となった受入体制を確立した。

・「G7長野県軽井沢外務大臣会合」の安全で円滑な開催に向けた支援を軽井沢町や県警等と連携して行った。

・会合では、県産食材を活用した料理や県産ワイン・日本酒等を提供したほか、県産花きによる装飾、県産材を使った国名プレートの提供、伝統的工芸品等の展示を実施。また、国際メディアセンターに長野県PRブースを設置し、食や観光、伝統的工芸品、県施策等を発信した。



7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	※トクワNAGANO大学生国際交流リーダーの参加人数※R3は大学生サポーター数	R3年度推移	—	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
・参加者募集までに水際対策が緩和されず、中国への渡航が見込めなかったことから、参加者が前年度より減少した。							
指標②	※トクワNAGANO大学生国際交流リーダーの満足度（5段階）	R3年度推移	—	R4年度推	↗	達成状況	達成
・中国渡航の代わりとして、5回の養成講座に加え、東京の中国大使館や外務省等の中国関連施設を訪問する研修ツアーを開催したことで、参加者の満足度を高めることができた。							
指標③	国際交流員の派遣件数	R3年度推移	↘	R4年度推	↗	達成状況	達成
・コロナ対策が緩和されたことで学校行事等への派遣が増えたことにより、派遣件数は3年間で最多の128件となり、目標値を上回った。							
指標④	国際交流員の派遣満足度	R3年度推移	↘	R4年度推	↗	達成状況	未達成
・コロナ禍から徐々に回数を増やし、経験を積み重ねることで前年度より高い満足度を得ることができたが、目標値の達成には至らなかった。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・コロナが収束に向かう中、停滞していた国際交流人材の育成や海外との交流をより一層促進していくことが求められる。これまで渡航ができないことで、工夫し取り組んできた経験やノウハウ等を活かしながら、中国など海外との国際交流を更に充実していく必要がある。

・トクワNAGANO大学生国際交流リーダーの参加者と満足度を増やすためには、より実践的な国際交流体験ができる講座内容にしていく必要がある。そのため、県内に受け入れた中国等の学生と県内の学生との交流機会や中国での現地研修を積極的に設けていく必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

・中国河北省の大学生等を長野県内に招へいし、トクワNAGANO大学生国際交流リーダーとの交流の機会を設けることで、参加者のモチベーションや満足度の向上を図る。

・トクワNAGANO大学生国際交流リーダーを中国の大学へ派遣する現地研修を中国河北省や県内大学と連携して実施する。

事業番号	02 11 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	グローバル化推進事業費		部局	企画振興部	課・室 国際交流課/G7外務大臣会合準備室

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	国際化啓発推進事業費		226,414 千円	226,476 千円	29,541 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	国際関係パートナーシップ強化事業	直接	・ホストタウンNAGANO大学生国際交流リーダーの育成 ・友好協約締結5周年を迎えた韓国江原道・ソウル特別市への訪問 ホストタウンNAGANO大学生国際交流リーダー養成講座参加者：26名		
2	中国・中南米との青年交流事業	直接	新型コロナウイルスによる水際対策が緩和されず、中国河北大学等の学生や中南米県人会の研修員の受入れ、県内大学の学生との交流を実施できなかった。 受入人数：0人		
3	通訳職員設置事業	直接	県の国際関係業務の通訳及び資料作成に係る翻訳業務の実施 通訳・翻訳件数：214件		
4	国際交流推進事業	直接	・3名（英語圏・中国・韓国）の国際交流員を配置し、小中学校等や、国際交流イベントへに派遣 派遣件数：128件		
5	ウクライナ避難民支援事業	補助金	・県内のウクライナ避難民への生活資金支給 ・市町村等が実施する生活・就学・就労支援の取組について助成 支援金受給者：12名		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	河北省友好提携事業費		0 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	中国大学生インターンシップ活用事業	直接	新型コロナウイルスによる水際対策が緩和されず、河北大学等中国大学生の受入れを実施できなかった。 受入人数：0人		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	海外県人会連携事業		1,812 千円	1,823 千円	1,823 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	海外県人会運営費補助金	補助金	<p>本県出身者の移住先国である日系人社会の発展に協力し、本県との友好関係を促進するため、ブラジル及びアルゼンチンの海外県人会の運営や各種事業に対し、補助金を交付</p> <p>補助件数：2件</p>		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	自治体国際化協会職員派遣		10,448 千円	13,132 千円	15,958 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自治体国際化協会海外事務所派遣事業	直接	<p>（一財）自治体国際化協会の海外事務所に職員を派遣し、実務型の長期派遣研修を実施</p> <p>派遣職員数：北京事務所1名、シンガポール事務所1名</p>		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	一般外事事務		25,505 千円	25,411 千円	67,951 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	一般外事事務	直接	<p>県内自治体の国際化の推進及び教育現場での外国語教育の充実を図るため、（一財）自治体国際化協会の海外事務所整備に係る分担金の支出や外国青年招致事業を実施</p> <p>外国青年招致者数：50人</p>		
2	G7外務大臣会合推進事業	負担金	<p>・令和4年10月に官民一体となった受入体制を確立するための「G7外務大臣会合長野県推進協議会」を設立</p> <p>・外務省や町等の関係機関との連絡・調整や、医師・看護師の配置等により開催を支援</p> <p>・会合会議場や国際メディアセンターにおいて食や観光、伝統的工芸品等の魅力を発信</p> <p>・会合を契機に在京大使館による県内視察や高校生ワークショップ等を実施</p> <p>国際メディアセンター内に「長野県PRブース」設置 在京大使館12か国18名参加 ワークショップ参加高校生9校35名</p>		